

# 平成20年度 事業報告書

平成20年4月1日から平成21年3月31日

特定非営利活動法人安房文化遺産フォーラム

## 1. 特定非営利活動事業の成果

地域の歴史・文化や先人たちの功績や精神を語り継ぐことを通して、地域住民の誇りを育み、支え合うコミュニティの再生を目ざし、青少年の育成や高齢者の社会参画を促進するNPO活動を展開してきた。地域にある里見氏城跡や戦争遺跡、水産業などの“今あるもの”を活かす「地域まるごと博物館(エコミュージアム)」構想を横軸に、市民の生涯学習を縦軸に掲げ、スタディツアーのガイド事業や書籍の発行、地域づくりの事業を中心に、市民が主役となって地域内外の交流を実践してきた。

その一環として、千葉県NPO活動パワーアップ補助金では「生涯現役・生涯学習による地域力向上と活性化」事業として、「元気なまちづくり市民講座～持続可能な地域を目ざして」の開催と、交流人口の拡大を目ざした総合的なITシステムの構築をおこなった。前者では、ガイダンスと8回連続講座を企画し、毎回、講師の事例紹介を受けて後半は討議により地域づくりへの参画意欲を促進した。テーマは、安房地域の歴史・文化遺産、医療、環境、観光、食文化、他地域の先進事例など多岐にわたった。従来より開催している「知恵袋講座」(月1回)との相乗効果もあり、参加メンバーの中から新たなプロジェクトも生まれている。後者では、「安房国再発見」をテーマとしたポータルサイトを構築し、従来の「地域まるごと博物館」をさらに充実させる他、イベントカレンダーやツアー・講演参加者の感想などを供覧できるシステムを導入し、会員内外の交流促進を図った。

国指定史跡に向けて調査検討の進められている里見氏稲村城跡の保存・活用事業に関連し、前年度の鳥取県倉吉市(旧関金町)における学術調査(里見氏調査会)の報告書を作成・発行した。里見氏稲村城跡を保存する会との共催により、調査報告会を開催した。＜八犬伝のふるさと～里見のまち館山＞という地域ブランドの浸透を目ざし、「里見八犬伝ワールド in 館山 2008～第2回戦国こすぷれ大会」を開催。全国から参集したコスプレイヤー(現代仮装演者)と館山の市民文化である手づくり甲冑隊に加え、魂刀流志伎会による殺陣の演舞披露と指導の組み合わせ企画で、約1,000名の来場者が里見の歴史・文化にふれ、交流を図った。

館山市内で少子高齢化率の高い富崎地区コミュニティ委員会との協働が実り、館山市長・教育長・地区役員をはじめとする全国の美術関係専門家ら89名が発起人となり、「青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会」を設立した。当NPOは事務局を付託され、文化財の保存・活用に取り組んでいる。

全国各地で医療危機が報道される昨今、安房地域内でも2つの看護学校の廃校が決定したことに伴い、「安房の地域医療を考える市民の集い」を開催、100名以上が参加。さらに、医療従事者と市民が膝を交えた懇談会を6回開催し、医療現場の現状などを深く理解した。

(旧)県立安房南高校生徒会が行ってきたアフリカ・ウガンダ支援活動を引き継ぎ、現地に設立された「安房南洋裁学校」を支援するためバザーを2回開催した。婦人保護施設かいた婦人の村、博道会館山病院、県立安房高校JRC部の協力を得て、売上金と寄付金を合わせて4,000ドルを送金。ウガンダ安房南洋裁学校では、故障した農作業用トラックの代替車を購入した旨、お礼状が届いた。

## 2. 特定非営利活動に係る事業実施に関する事項

### 事業名 ①文化財や戦争遺跡を活用したガイド事業

事業内容 文化財や戦争遺跡を活用して、学校の平和研修や総合学習はじめ公民館講座や各種団体の地域づくり視察等スタディツアーのガイド活動、講演などを実施した。とくに高校では学年全体での総合学習や遠足に平和学習を取り入れてくれた。また、生涯学習を通じて観光まちづくりに寄与するために、赤山地下壕の無料ガイド等を実施した。

実施日時 年間を通じて随時

実施場所 安房郡市の文化財や戦争遺跡の現地見学と公共の施設など

従事者数 延べ500名

受益対象者の範囲及び人数 見学者延べ3,818名 127団体

支出額(千円) 1,310千円

## 事業名 ②書籍等出版販売事業

事業内容 地域の埋もれた歴史・文化を調査研究し、房総半島固有の地域像を紹介したガイドブックを作成し販売している。「あわ・がいど」シリーズ4部作『戦争遺跡』『房総里見氏』『海とともに生きるまち』『安房 古道を歩く』は、スタディツアーにおいてテキストとして利用。新規に『あわがいどマップ①海軍のまち館山』を作成。ともに館山市内の一般書店で有償頒布。簡易パンフレット「安房国再発見」は無料配布している。

実施日時 年間を通じて随時

実施場所 見学現地及び書店

従事者数 20名

受益対象者の範囲及び人数 不特定（頒布数は約3,000冊）

支出額(千円) 1,600千円

## 事業名 ③ その他の特定非営利活動事業

事業内容 市民が生涯学習の成果を活かし、地域内外の交流を図りながら生涯現役で活躍することは、健康な生きがいづくりであるとともに、地域の課題解決の糸口と考えられる。従来の公民館や生涯大学が担ってきた社会教育の域を一步出て、学習成果を地域社会に役立てるまちづくりシステムへの発展が求められている。市民が主体となって地域ニーズに即したプログラムを検討・企画し、地域課題への関心を喚起し、自ら地域活性化に参画する動機付けとすることを旨とする。地域内交流と地域外交流を活性化することで交流文化を育み、ロコミ・リピーターとなり得る館山のファン層をつくり、館山の応援団ネットワークを形成すること。これらの目的で、下記のさまざまな活動に取り組んだ。

実施日時・場所等 別表のとおり

支出額(千円) 1,392千円

| 実施日時<br>事業名                                   | 実施場所           | 従事者数      | 受益者の<br>範囲と人数       | 支出額<br>(千円) |
|-----------------------------------------------|----------------|-----------|---------------------|-------------|
| 2008.5.31<br>輝け！市民が主役のまちづくりシンポジウム             | 商工会議所<br>ホール   | 13名       | 市民・来場者<br>200名      | 86          |
| 2008.8.6～2009.2.11<br>元気なまちづくり市民講座(ガイダンス+全8回) | 小高記念館<br>他     | 述べ<br>60名 | 市民参加者<br>述べ380名     | 467         |
| 2008.9.28<br>青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑保存会              | 富崎小学校<br>体育館   | 30名       | 市民・来場者<br>80名       | 100         |
| 2008.11<br>八犬伝ワールドin館山 戦国こすぷれ大会               | 館山市<br>城山公園他   | 80名       | 市民・観光客等<br>約1,000名  | 295         |
| 2008.11～2009.2<br>安房地域の医療を考える市民の集い            | 館山市中央<br>公民館、他 | 述べ<br>30名 | 市民・医療従事<br>者 述べ280名 | 41          |
| 2008.12～2009.3<br>ウガンダ安房南洋裁学校支援バザー            | 館山病院駐<br>車場、他  | 述べ<br>26名 | 市民・来場者              | 403         |

### 3. 特定非営利活動事業の表彰

千葉県知事文化の日功労賞（地域観光振興部門）